

公益財団法人群馬健康医学振興会 平成 30 年度事業報告書
(平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日)

I. 公益目的事業

1. 「公 1」県民の健康づくりのための研究助成・書籍発刊・講師派遣事業

(1) 県民の健康づくりのための研究助成事業

1) 医学研究、調査及び教育に対する助成

群馬県内又は近郊、その他の地域に勤務する医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学・作業療法士、保健師、社会福祉士、その他の保健・医療及び福祉関連職、教員、団体等不特定多数の医療従事者を対象に、年度内に行う研究又は事業で、当振興会の趣旨に沿った活動を募集のうえ、選考を行い、平成 30 年度は下記の 6 件に研究助成金を交付した。

番号	氏名	勤務先・職名	研究又は事業のテーマ	助成額 (万円)
1	関 優子	群馬大学医学部附属 病院放射線部	CT 透視に用いる再利用可 能で安価なマーカーの開発	30
2	熊坂 創真	群馬大学大学院放射 線診断核医学・群馬大 学医学部附属病院核 医学科	DWIBS法による去勢抵抗性 前立腺癌に対するゾーフィゴ の治療効果判定方法の確立	30
3	篠原 智行	高崎健康福祉大学保 健医療学部 理学療 法学科	地域高齢者における生活動 作のラテラルリティとバランス機 能の関連	30
4	茂木精一郎	群馬大学大学院医学 系研究科皮膚科学	全身性強皮症患者のピア・ サポートを支援する取り組み	30
5	滝沢 琢己	群馬大学大学院医学 系研究科小児科学	ヒト気道上皮細胞におけるタ バコ煙成分による細胞質内 自然免疫関連分子 STNG を介したムチン産生誘導機 構の解明	30
6	大西 浩史	群馬大学大学院保健 学研究科	生体に内在する組織保護作 用に基づく神経変性疾患診 断・治療法の開発	30
合 計				180

2) 2019 年アジア・オセアニア生理学会連合大会教育サテライトワークショ

ップに対する助成

生理学教育の進歩発展を図ることを目的とした2019年アジア-オセアニア生理学会連合大会教育サテライトワークショップは、一般社団法人日本生理学会の主催の下、群馬大学大学院医学系研究科応用生理学分野 鯉淵典之教授が主幹となり平成31年3月27日(水)～28日(木)神戸国際会議場を会場に開催された。県内からは群馬大学、高崎健康福祉大学、パース大学等の医学・医療教育担当者が多数参加した。本ワークショップを支援し開催することによって、参加者が得た知識、技術は県内の医療関係者、学生等の教育に寄与され、地域住民の健康増進、地域医療の振興に貢献することができた。助成金は下記のとおり県内外から募金し、研究助成金として奨学・研究責任者 鯉淵教授に交付した。なお、本ワークショップの成果を基に県民を対象とした「医学・医療従事者のための教育ワークショップ」を令和2年開催する予定である。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成30年度	個人	1名	100,000円	
	法人	6名	750,000円	
	計	7名	850,000円	

3) 10th. Annual Meeting of Cervical Spine Research Society-Asia Pacific Section (第10回国際頸椎学会-アジア太平洋部門) に対する助成

頸椎外科分野における世界最高峰の学会として脊椎外科発展に寄与することを目的とした10th. Annual Meeting of Cervical Spine Research Society-Asia Pacific SectionはCervical Spine Research Society-Asia Pacific Sectionの主催の下、榛名荘病院群馬脊椎脊髄病センター 清水敬親センター長が大会長となり、平成31年3月14日(木)～16日(土)パシフィコ横浜を会場に開催された。県内からは群馬大学整形外科の医師、県内諸病院勤務の脊椎外科医等が多数参加した。また群馬大学大学院医学系研究科整形外科学 筑田博隆教授が“学術集会の local host”として運営に参加した。本学会に参加した県内の脊椎脊髄疾患診療に関わる医師、研究者は、本学会で得た知識・技術等を県内での整形外科・脳神経外科・神経内科関連業務研究等を通じて県民に還元でき、ひいては県民を“重度の脊髄症による麻痺”及び“難治性頸椎変形による著しいADL障害”から救う手立てを学ぶこととなり、県民の健康増進、重度麻痺の予防に寄与することができた。助成金は下記のとおり県内外から募金し、研究助成金として会長清水敬親センター長に交付した。

また、本学会で得た知識・技術を広く県民に還元し貢献する目的で県民を対象にした市民講座『頸椎・頸髄疾患治療の今』を後日開催する予定である。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成 30 年度	個人	84 名	4,750,000 円	
	法人	26 名	7,600,000 円	
	計	110 名	12,350,000 円	

4) 第 8 回手術基本手技講習会に対する助成

医学生を含む一般参加者、外科専門医を目指す医師・外科専門医などを対象として優秀な外科医育成を目的とした第 8 回手術基本手技講習会は、特定非営利活動法人群馬大学総合外科学講座開講記念会が主催し、理事長で国立大学法人群馬大学大学院総合外科学講座 調 憲教授が主幹となり平成 30 年 12 月 15 日（土）群馬大学医学部附属病院 アメニティ講義室を会場に開催された。群馬大学医学部及び附属病院関係者を始め、県内医療機関者等が受講した。助成金は下記のとおり県内外から募金し、研究助成金として理事長 調 憲教授に交付した。

年 度	摘要	件 数	金 額	備 考
平成 30 年度	個人	22 名	970,000 円	
	法人	11 名	1,020,000 円	
	計	33 名	1,990,000 円	

(2) 書籍発行业

概ね 5 年毎の研究助成、講師派遣事業の成果、及びその間に法人が収集した最新の医学の進歩について、広く県民、地域住民に知らしめるための書籍を発刊し、地域の医師会、病院、学校施設、行政などに寄贈すると共に一般の書店、病院で販売する。平成元年 4 月に創刊後、これまでに 6 冊を発刊し、令和 5 年度“健康医学ガイド 7”を発刊予定であるが、当該年度単体では発刊資金約 5 百万円が準備できないため、各年度予算の範囲内において積み立てる必要があり、平成 29 年度より 5 年間で「特定費用準備資金」として総額 5 百万円を積立てる予定である。

積立てる「特定費用準備資金」の詳細は下記のとおり。

区 分	内 容
1. 資金の名称	書籍発刊積立資産
2. 資金の内容	“健康医学ガイド 7”の発刊資金
3. 資金の計画期間	平成 29 年度～令和 3 年度（5 年間）
4. 活動の実施予定時期	令和 5 年度
5. 資金の積立額	平成 30 年度：1 百万円 （累計：2 百万円） （総額：5 百万円）
6. 資金の算出根拠	“健康医学ガイド第 6 刊”（3,000 部）の実績に準拠

	1.印刷代： 4,310,000 円 2.執筆謝金： 550,000 円 3.頒布郵便代等：140,000 円 合計 5,000,000 円
--	---

(3) 地域医療の振興、地域住民の医学知識向上のための講師派遣事業

地域において健康づくりを目的とした講演を主催する公共の施設又は福祉を目的とする団体からの講師派遣の要請に応え、下記のとおり講師を派遣した。

1	派遣講師名	群馬大学大学院保健学研究科 看護学 岡 美智代 教授
	派遣日	平成 31 年 2 月 19 日 14 時 30 分～15 時 30 分
	派遣先	前橋市城南地区地域づくり協議会 地域福祉部会長 木村 浅治郎
	会 場	前橋市城南公民館
	講演名	森林浴によるストレス解消と健康づくり ～あなたのお散歩をより効果的に！～
	対象者	城南地区高齢者サロン運営者・担い手&興味・関心のある者
	聴講者	111 名

II. 収益目的事業

1. 「収 1」 医師賠償責任保険の委託契約集金事務

株式会社 北栄を取扱代理店とする医師賠償責任保険の委託契約集金事務の実績は、下記のとおりであった。

摘 要	加入者数	事務費	備 考
団体医師賠償責任保険 (内、交通傷害特約付き)	2,269 名 (1,178 名)	5,485,892 円	

III. 管理事業

1. 賛助会員

賛助会員の募集を行い、次のとおり賛同者を得た。

区 分	員 数	口 数	会 費	備 考
個人会員	64 名	191 口	955,000 円	1 口 5 千円
法人会員	42 名	43 口	2,150,000 円	1 口 5 万円
計	106 名	—	3,105,000 円	

2. 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会の開催

定時(第 18 回)理事会開催	平成 30 年 5 月 17 日(木)
臨時(第 19 回)理事会開催	平成 30 年 6 月 14 日(木)
定時(第 20 回)理事会開催	平成 30 年 10 月 11 日(木)
定時(第 21 回)理事会開催	平成 31 年 3 月 19 日(火)

(2) 評議員会の開催

定時(第 11 回)評議員会開催	平成 30 年 6 月 14 日(木)
臨時(第 12 回)評議員会開催	平成 30 年 10 月 11 日(木)